

みずほCustomer Desk Report 2023/05/19号 (As of 2023/05/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	137.62
TKY 9:00AM	137.59	1.0838	149.18	GBP/USD	1.2483
SYD-NY High	138.75	1.0848	149.45	AUD/USD	0.6656
SYD-NY Low	137.29	1.0763	148.79		
NY 5:00 PM	138.72	1.0771	149.39		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,535.91	115.14	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	12,688.84	188.27	日本10年債	0.3800%	0.0200%
S&P	4,198.05	39.28	米国2年債	4.2581%	0.0999%
日経平均	30,573.93	480.34	米国5年債	3.6869%	0.0996%
TOPIX	2,157.85	24.24	米国10年債	3.6495%	0.0788%
ソコ日経先物	30,925.00	380.00	独10年債	2.4130%	0.0755%
ロンドンFT	7,742.30	19.07	英10年債	3.9545%	0.1175%
DAX	16,163.36	212.06	豪10年債	3.4700%	0.0400%
ハンセン指数	19,727.25	166.68	USDJPY 1M Vol	10.29%	0.08%
上海総合	3,297.32	13.09	USDJPY 3M Vol	10.08%	0.15%
NY金	1,959.80	▲ 25.10	USDJPY 6M Vol	10.13%	0.06%
WTI	71.86	▲ 0.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.36%	Yen Call Over
CRB指数	261.66	▲ 0.62	EURJPY 3M Vol	9.61%	▲0.06%
ドルインデックス	103.58	0.70	EURJPY 6M Vol	9.97%	▲0.08%

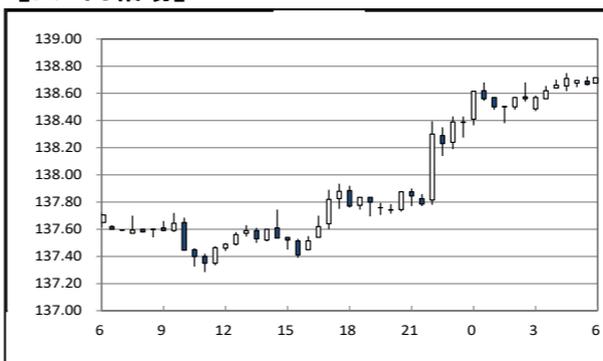
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月18日	08:50	日 貿易収支	4月 -¥432.4b	-¥600.0b
	10:30	豪 雇用者数変化	4月 -4.3k	25.0k
	10:30	豪 失業率	4月 3.7%	3.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	13-May 242k	251k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	5月 -10.4	-20
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 4.28m	4.30m

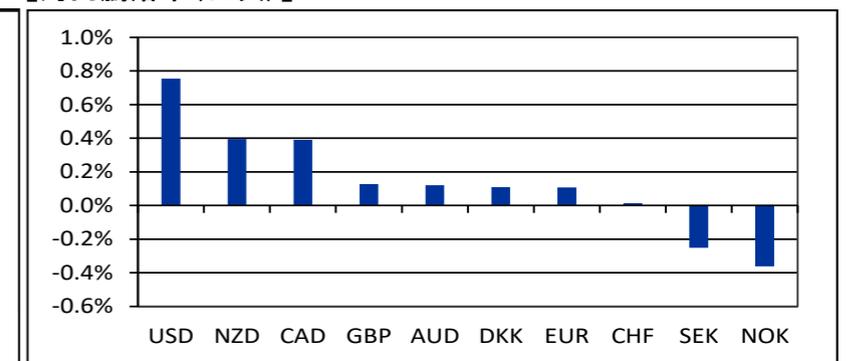
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月19日	08:01	英 GfK消費者信頼感	5月 -27	-30
	08:30	日 全国CPI	4月 3.5%	3.2%
	08:30	日 全国コアCPI	4月 3.4%	3.1%
	08:30	日 全国コアコアCPI	4月 4.2%	3.8%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	4月 -0.5%/4.3%	-1.4%/6.7%
5月20日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.80-139.50	1.0700-1.0850	148.50-150.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一時138.75円と約6カ月ぶりの高値まで上昇した。米債務上限協議妥結期待が持続する中、予想比強い米経済指標の発表、さらに米FRB高官からのタカ派発言が重なりドルが続伸。米債務上限問題を巡っては共和党のマッカーシー下院議長は債務上限を引き上げる法案が来週に下院に提出されるとの見通しを示し、交渉は先週よりも良い位置にあると発言。米株式市場も米国はデフォルトを回避できるとの期待感から続伸している。また、発表された新規失業保険申請件数が予想を下回り、2021年以来大幅な低下を記録した。先週まで市場では年内3度の利下げが織り込まれていたが、労働市場の底堅さが確認されたことで、年内利下げの織り込みは2回未済まで低下。さらに、6月の利上げ観測も高まっている。市場でのリスクオンモードが漂う中、米金利も上昇しておりドル買いの流れは継続すると予想する。米国では本日パウエル米FRB議長がワシントンの会合で討論会に参加する予定で、6月の利上げの可能性について言及するが注目したい。ただし、ドル円は週後半にかけて急激に上昇しているため、週末のポジション調整には注意したい。

東京	東京時間のドル円は137.59レベルでオープン。仲値にかけて続いたドル売りの流れや、豪4月雇用統計の予想を下回る結果を受けたAUDJPYの下落につられる形で137.29まで下落。ただその水準で下げ渋るとじり高となり、午後には前日の高値を抜け一時137.74をつけるも勢いは続かず。137円台半ばまで反落し、137.41レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、137.41レベルでオープン。米金利の上昇を背景に137.93円まで一本調子で上昇し、結局137.83レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0831レベルでオープン。全体的なドル高を背景にじり下げで推移し、結局1.0815でNYに渡った。欧州株は前日の米国株の上昇に続いて全面高で推移した。
ニューヨーク	NY市場のドル円は137.83レベルでオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より良好の結果となった事や、ローガン・ダラス連銀総裁が「まだ利上げを停止する論拠はまだ明確になっていない」などの発言から、ドル買いが強まり、22年12月以来の138円台を回復。続いて、マッカーシー米下院議長が「米債務上限を巡る合意を来週に下院で討議する見通し」、「合意がまとまる可能性が見えてきた」等の発言を受けドル買いが続いた。午後は米金利が高値圏で推移するのを横目に、ドル円も138.75まで上昇し年初来高値を更新、その後138.72レベルでクロスした。一方海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。特段材料が見当たらない中、じり安での推移後、1.0815でNYオープン。朝方は米経済指標や要人発言を受け、ドルが買われる中、1.08台を割り込む。午後は米金利の堅調な展開を受け、下げ幅を拡大し、約1か月半ぶりの1.07台まで下落し、安値の1.0763を付ける。その後小幅反発し、1.0771でクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・原田